

実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
教科等：単元名	学級活動：「メールって便利だね。でもマナーも大切。」	
キーワード	電子メール、利用上のマナー（良さと問題点）	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☒ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a 3 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ
	中目標項目番号 中目標項目内容	a 3 - 1 他人や社会への影響を考えて行動する
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	電子メールが生活の中で役立った事例と、友だちとのトラブルにつながってしまった事例を用い、その原因を考えることを通して、そのよさと問題点を知る。	
使用教材	教材名	事例で学ぶN E Tモラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

○展開

	学習活動	指導 評価
導 入	1 電子メールを利用した経験を想起する。 2 映像クリップを見る。 3 翌朝、あい、どうして皆から白い目で見られてしまったのかを考える。	・携帯と PC のどちらで利用したか、相手は誰でどんな内容だったかを聞く。 ・メールの経験がない子には、まゆが皆にメールでまわしたことは考えにくいいため、机間巡視をして分かっている子に指名する。
展 開	4 あいとまゆがした電子メールでのやりとりの問題点を考える。 5 映像クリップの事例から、電子メールの良さと問題点を考える。	・まゆの問題点には気づきやすい。あいの返信メールにも問題点があったことをおさえる。 ・クリップ前半からは電子メールの良さを、後半からは問題点を見つけるようにする。
お わ り	6 まとめの映像クリップを見て、本時学んだことをふり返る。	・学習カードに、電子メールの良さと問題点を知って、考えたことを書かせる。

○授業の成果

- ・学習活動 1 では、電子メールの利用状況と合わせて、携帯電話の所有についても学級の実態を把握することができた。いずれも、担任の予想以上に利用していることが分かった。その一方で、「一斉送信」や「チェーンメール」などの言葉が発言されたときに、理解できている子とそうでない子とが見られ、温度差を感じた。利用状況の多い子は、学習活動 3 の質問にもすぐに答えていた。
- ・学習活動 4 では、まゆとあい、双方の問題点が自然と挙げられた。これは電子メールだけではなく、通常のコミュニケーションの中でも大事にしたいと付け加えた。
- ・学習活動 5 では、「文字では気持ちまでは伝わりにくいから、誤解されることもある」ということや「メールはボタン一つで一斉に送信できるよさがあるが、時として悪いことにもつながる」ということを話す子がおり、それをまとめに用いた。学習カードに書かれたふり返りを読んでみても、電子メールの良さと問題点について、知ることができたようだ。

○指導のポイント・留意点

- ・とすると、電子メールの問題点ばかりがクローズアップされてしまう。映像クリップの前半部分のような良さも、きちんとおさえたい。
- ・電子メールを利用したことがない子もいる。事前に、スタディノートの掲示板機能などを利用して、電子メールの簡単な仕組みを理解した上でこの授業を行うと、より効果的かもしれない。